

# ナント NANTES

ロワール渓谷とブルターニュ地方に挟まれ、海から 30 分のところにあるナントまでパリから TGV (高速鉄道) でたったの 2 時間。フランス国内の地方都市からも飛行機で 1 時間から 1 時間半、欧州の大都市からも 2 時間でアクセスすることができる。

この街では見るものすべてが新鮮。文化が熱く沸き立つナントでは、毎年、訪れるべき新しいサイトが次々にオープンしている。

ブルターニュ大公城、レ・マシーン・ド・リルにある巨大な象と海の世界をイメージしたメリーゴーランド、歴史を伝える奴隷制度廃止記念館、ショッピング・アーケードのパスサージュ・ポムレー、現代アートのインスタレーション作品をめぐる「エスチュエール・ナント<>サン・ナゼール」、現代アートのアトリエ「ラ・ファブリック」など、30 ほどのサイトを集めて設定されたカルチャールート「ヴォワイヤージュ・ア・ナント(ナントの旅)」をめぐれば、大西洋からほんの 60km 離れた場所で詩情溢れる驚きに満ちた都会の散策が楽しめる。

現代の偉大なアーティストが制作した芸術作品から貴重な歴史遺産まで、古い歴史の面影を残す小道から現代的な建築物まで.....「ヴォワイヤージュ・ア・ナント」をたどりナントを旅しよう。

## 主要な史跡・文化施設

### ブルターニュ大公城

要塞と大公宮殿が全面リニューアルを終え、更に美しく生まれ変わった。城壁全体の見学や、今まで一般公開されていなかった数多くの部屋の見学も可能に。大公城内の博物館(展示室 32)には 800 点もの豊かな所蔵品を展示。見学の途中には、マルチメディアを使った遊戯的で教育的な演出も実施。

2014 年: 特別展「サムライ? 神話と現実 SAMOURAIS ? MYTHES ET REALITES」

### ナント島のマシーン

ナント島にあるレ・マシンはまったく新しいアートプロジェクト。造船所跡地を舞台に、ジュール・ヴェルヌの“空想の世界”とレオナルド・ダ・ヴィンチのメカニクな世界、そしてナントの産業史がクロスオーバーする。背中に乗れる機械仕掛けの巨大な象や、展示スペース「ギャラリー・デ・マシーン」、海の世界を表現したカラーセル(メリーゴーランド)は必見。巨大な散歩道「鷺(サギ)の木」の制作はレ・マシンの主要プロジェクト。枝の部分の試作品の内部を実際に歩くことができる。

### ナント市内と城の見学

市内の 3 地区(中世、18 世紀、19 世紀)を歩いて見学する、まさに時間旅行の観光コース。最後にブルターニュ大公城を訪れる。最近行われた大規模な改修工事により、博物館には現代的な展示方法が導入されておりナントの驚くべき歴史を知ることができる。所要 3 時間。

### ナント・ツアー

アンペリアル・バスからの眺めを楽しむナントの市内観光。チケットは 24 時間有効。12 ヶ所の停留所で乗り降り自由。美術館、モニュメント、庭園を訪れ、自由に散策できる。さまざまな言語のオーディオガイドによる解説付。

### ロワール川とアンドル川クルージング

フランソワ 1 世が「フランスで最も美しい川」と呼んだアンドル川のクルージング、パノラマ船にのって川沿いの素敵な城を見学。ランチ・クルーズやディナー・クルーズも可。

### トラントムール

ロワール川左岸に位置する可愛い漁村。市民のお気に入りの散歩コース。積み重なるように建つカラフルな家々が並ぶ街路を彷徨い、岸辺まで歩く。川を眺めながらガンゲット(郊外のダンスホール・レストラン)で食べたり飲んだりすることができる。

### リュウ・ユニーク

ビスケットで有名なクッキー・メーカー「LU リュ」の工場跡地は、1998 年にリュウ・ユニーク(ナントの流行発信地であるユニークな場所)として生まれ変わった。展覧会、演劇、DJ パフォーマンスを実施。レストラン、バー、ハمامもあり。

## バナナ倉庫

かつてはバナナを熟させるために使われた倉庫。改装され、テラスで食事やグラスを傾けたり、踊ったり、楽しんだり、展覧会を見たりする現代風スポットに生まれ変わった。ナント島の西端にあり、巨大なクレーンや、ロワール川、シャントネー、フォス河岸などが眺められる。ナント島のマシーンもすぐ近く。

## 2014年の主要なイベント

### ヴォワイヤージュ・ア・ナント Le Voyage à Nantes – 2014年6月27日～8月31日

夏のあいだ、アートが街を激しく揺さぶる！ヴォワイヤージュ・ア・ナントは都市内に設定されたカルチャールート。ルートは路上に引かれた一本の線で表され、この線をたどれば芸術作品を展示している文化サイトをめぐることができる。都市を貫くアートが、シュールリアリストに愛されたこの街の個性的なイメージを強める。道の角を曲がるごとに、新たな驚きに出くわすはずだ。

### 展覧会「サムライ？ 神話と現実 SAMOURAIS ? MYTHES ET REALITES」

1 世紀半以上も我々を魅了してきたサムライ。サムライは今なお、西洋人が日本に対して抱くイメージを作り上げる一要素となっている。

### クラシック音楽フェスティバル「ラ・フォル・ジュルネ(熱狂の日) La Folle journée」- 2014年1月 29日～2月2日

今や一大イベントとなったラ・フォル・ジュルネ。第20回目を数える2014年は、「キャニオン(峡谷)から星々へ」をテーマに、20世紀初頭から現代までのアメリカ音楽を振り返る。

### 野外ジャズフェスティバル「ナント・エルドル川音楽祭 Rendez-vous de l'Erdre」- 2014年 9月

### ナント国際花の展覧会 Les Florales Internationales – 2014年 5月 8日～18日

1956年から5年に一度開催されてきた格式ある花の展覧会。展覧会では毎回、エルドル川沿いにある35ヘクタールのボージョワール公園にプロ、アマを問わない200人以上の出展者を迎えている。いずれも園芸と植物に関する知識や技術を評価されて選ばれた人ばかり。フランス各地のみならず世界中から参加者が集まっている。

## 郷土料理

ナントは、バラエティー豊かで質の高い新鮮な食材に恵まれた楽園。毎朝水揚げされたばかりの海の幸や季節の野菜が集まるタランサックの市場やMIN(ランジスに次ぐフランス第二の公益市場)に行けば、その新鮮さと彩りの豊かさは一目瞭然だ。

大西洋岸の港には貝類や甲殻類や魚が水揚げされ、ロワール川やグラン・リュウ湖ではシラスウナギ、カワカマス、ホソズキなどが獲れる。川沿いの湿った砂地は野菜の集約栽培地で、早生のポロネギやマーシュ菜などが作られており、隣にはAOC ミュスカデ・ワインのブドウ畑が広がり、フランスでも有数の美しい風景を形作っている。

18世紀の大航海時代にもたらされた砂糖やスパイス、コーヒー、エキゾチックな果物なども、ナントの郷土料理やお菓子(ベルランゴやリゴレットと呼ばれるボンボン)やビスケット(リュウのビスケット、BN)の材料になっている。ゲランドの塩を使ったバターも、ナントの名物で、伝統的に料理に添えられる。

伝統的なナント料理は、ホソズキのムニエルや、カエルの足、ヤツメウナギの赤ワイン煮など、ロワール川の幸を中心に生まれた。

ミシュランの星付きの高級レストラン《ラトランティード l'Atlantide》からクレープ屋《エブ・カン Heb Ken》まで、沢山のお勧めレストランがある。店のスタイルも、《メゾン・パロン la Maison Baron》のロフト風から、《テオ Teo》のスタイリッシュな白黒のインテリアまで、多種多様。シャン・ダブリル Chants D'Avril のクリストフ・フランソワからリュリュ・ルジェ Lulu Rouget のリュドヴィグ・プーゼルグまで、次々に新しい才能が誕生している。

ナント土産には、美味しい地元の名産品をお忘れなく。澱の上で寝かせたミュスカデ・ワイン、リュウのバター・ビスケット、ゲランドの塩の花、塩バター・キャラメル、ベルランゴとリゴレット、ナンティレ・カクテル、プフェのブロンド・ビールなどがお勧めである。

### ◆観光局のブティック

ワインやリュの土産品、絵葉書、ベルランゴやリゴレットなど地元の名産品、Tシャツなどを販売。

### ◆ヴォワイヤージュ・ア・ナントのショップ La boutique du Voyage à Nantes

地元の特産品や本、オリジナルグッズ(マグカップ、フリスビー、Tシャツ、iPhone ケース、バッジなど)を扱っている。

### ◆ロワール・ワイン館

70種類あるロワールのAOCワインを扱う。特にお勧めは1995年のミュスカデと澱の上で24カ月寝かせた銘柄ワイン。

### ◆ラ・フリアンド

お菓子やビスケットやリュのお土産品などナントのあらゆる名産品を取り揃える。

### ◆レ・マシーンのショップ

書籍も扱っているショップで、レ・マシーンをヒントに制作されたデッサンやアート作品などユニークで独創的な多種多彩なグッズを販売している。

## ショッピング

ナントで、“クレピヨンする”といえば、市内随一の高級ブティック街のクレピヨン通りでショッピングを楽しむことを意味する。19世紀に作られた優雅なショッピング・アーケードのパスサージュ・ポムレーにも面している。

### ナント市内の散策の楽しみ:

- ◆本物との出会い: 有機食材や花や書籍の市場などナントならではの独特の雰囲気を楽しむ。
- ◆多種多様、創意工夫、大胆: ナント出身のクリエイターの作品から国際的なブランド、小規模なブティックからデパートなど、様々な形態のショッピングが可能。
- ◆ユニークで楽しく和気あいあいとした雰囲気: 魅力いっぱい通りの、日のあたるカフェのテラス、バロック様式のパスサージュ・ポムリなど。

**骨董:** ジャン・ジョレス通りには数多くの骨董品店や、古物屋、画廊などが集まっている。毎週土曜日にヴィア

ルム広場でナントの蚤の市開催。(広場周辺には様々な工房が集まる)

**タランサック市場:** 市内最古のマルシェで海の幸や魚は特に有名。月曜日を除く毎日開催。市内で最大規模。

### 有名店、高級ブランド:

ギャラリー・ラファイエット百貨店 Galeries Lafayette、エルメス Hermes、ロンシャン Longchamps など。

## アクティビティ

アトリエ・デ・シェフ Atelier des Chefs (料理教室)  
2 Rue du Pré Nian, 44000 Nantes - 02 40 47 57 06  
www.atelierdeschefs.fr

ヴァンサン・ゲルレ Vincent Guerlais のパティスリー教室(スケジュール要確認)  
ケーキ作り教室とショールーム

ZA Erdre active - 4 rue de Lorraine - La Chapelle/Erdre  
02 40 48 02 59 GRATUIT 02 40 48 02 59  
http://www.vincentguerlais.com/stages.php

ナントワイン会館 Maison de vins de Nantes  
15 Place du Commerce - 44000 Nantes  
02 40 89 75 98

## レストラン

レストランガイド「レ・ターブル・ド・ナント」は [www.lestablesdenantes.fr](http://www.lestablesdenantes.fr) からダウンロード可能。

個々の質問やリクエストには、お問い合わせにて対応、料理やサービス、雰囲気の良さで評判のレストランをアドヴァイス。

お問合せ先:

TEL: 02 40 20 60 03/09

receptif@nantes-tourisme.com

## 宿泊施設

ナント市内には、国際的なホテル・チェーンからブティック・ホテル、快適なペンションや民宿、貸別荘まで8,300軒以上が存在。持続可能な開発の実現を目指して市が一眼となって努力しており、「2010年末までに全宿泊施設がグリーン・ラベルを取得」という高い目標を掲げている。

観光局のサイト [www.nantes-tourisme.com](http://www.nantes-tourisme.com) 上で宿泊ガイドのダウンロードが可能。

新着情報: ナント旧裁判所内にホテル・ラディソン・ブルーHôtel Radisson Blu \*\*\*\* がオープン。

ナント観光局では、宿泊予約も受け付け。

予約担当:

TEL : 02 40 20 60 03/01 FAX : 02 40 89 11 99

receptif@nantes-tourisme.com

---

### 近郊のみどころ

**高級ワイン「ミュスカデ」の産地をめぐる:** ナントからほんの 15 分離れたところに、古くからのワイン造りの伝統が残るブドウの産地が広がっている。ブドウ畑をめぐる観光ルートをたどれば、この地方の典型的な風景やシャトー、カーヴ、さらには美味しい食べ物と極上のワインに出会うことができる。

海岸。豪華なホテルやカジノもあり。ゲランドは、真っ白い塩の国の中心にある中世の美しい町。

### ユネスコの世界遺産ロワール川沿いの城

業者向け問い合わせ先: ランド・オペレーター

TEL : 02 40 20 60 03/ 01

receptif@nantes-tourisme.com

### ラ・ポール - ゲランド半島

9 キロにわたり白い砂浜が続くヨーロッパで最も美しい

---

### シャルル・ド・ゴール空港からのアクセス

#### 飛行機で来る場合

パリのシャルル・ド・ゴール空港からナント・アトランティック空港まで、エールフランス航空の定期便が毎日運航。

#### 鉄道で来る場合

パリのシャルル・ド・ゴール空港からナントまで直通のTGV 線あり。所要 3 時間。

---

### お問い合わせ

ナント観光局 OFFICE DE TOURISME DE NANTES METROPOLE

#### 団体用窓口

#### オペレーター

TEL : 02 40 20 60 03/ 01

receptif@nantes-tourisme.com

#### プレス向け Pour la presse :

Katia Forêt

TEL : 02 40 20 60 02

presse@nantes-tourisme.com